

夜間中学の設置に向けた検討事項

I 県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会で示した検討事項

論点1 生徒の受入れに関すること

・・・第1回部会（本日）～第3回部会（9月）
⇒2～4ページ

〈基本的な考え方〉

- 学齢を超えた者、外国にルーツのある者、不登校経験者など、多様な入学希望者に対応する必要がある。
- 学齢期の生徒の受入れについては、小中学校との連携が必要となる。

[検討内容]

ニーズ調査の実施、入学者の受入れ方法、学齢期の生徒受入れにおける課題

論点2 学習内容に関すること・・・第2回部会（7月）・第3回部会（9月）

〈基本的な考え方〉

- 日本語指導が必要な外国にルーツのある者や不登校経験者、小学校段階からの学び直しが必要な者にも対応するカリキュラムが必要となる。

[検討内容]

多様な生徒に対応した学習内容とするための方法などの検討

論点3 その他・・・第3回部会（9月）

- 夜間中学では、生徒の希望に応じて学校給食を提供する。（夜間定時制高校の調理場を活用する方向で検討）
- 市町村との連携のあり方についての検討

II 追加の検討事項

論点4 教職員等の配置に関すること

・・・第1回部会（本日）～第3回部会（9月）
⇒5ページ

〈基本的な考え方〉

- 夜間中学には教育内容の実施に必要な教職員のほか、教員以外の専門スタッフや開校準備員などを考える必要がある。

[検討内容]

教職員・教員以外の専門スタッフ・開校準備員の配置

論点5 設置形態に関すること

・・・第1回部会（本日）～第3回部会（9月）
⇒5ページ

〈基本的な考え方〉

- 県立夜間中学4校について、設置形態を考える必要がある。

[検討内容]

設置形態について

（参考）夜間中学の設置について

（愛知県 定時制・通信制アップデートプランより抜粋（2023年3月発表内容含む。））

1 開校時期及び場所

2025年4月開校 豊橋工科高校

2026年4月開校 豊田西高校、小牧高校、一宮高校

2 夜間中学の対象となる生徒、教員数、支援内容等

項目	内容
① 対象となる生徒	<ul style="list-style-type: none"> ○ 義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方 ○ 不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学を卒業した方 ○ 本国や我が国で義務教育を修了していない外国籍の方 ※不登校の生徒が中学校に籍をおきながら夜間中学へ通うことも可能
② 生徒数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年1学級10人程度、全体で10～30人程度（定員なし） 日本国籍の生徒が2割、外国籍の生徒が8割 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 〔日本国籍の生徒の半数は60歳以上 外国籍の生徒はほとんど15才～39才〕 </div> <ul style="list-style-type: none"> ※国籍、年齢層については、文部科学省「令和元年度夜間中学に関する実態調査」から推計
③ 教員数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専任の管理職1人、教諭10～15人程度、養護教諭1人、通訳など、合計15人程度
④ 支援内容	外国人生徒 <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語専門教師による日本語の習得に向けた系統的な学習を実施 ○ 母語指導教師による学習や生活支援を実施 ○ 外国にルーツをもつ生徒が日本語を含む学力を身に付ける <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> → 就職を希望する生徒が多いことから、高校で日本語を含めた学力を身に付けることができるよう、夜間定時制高校への進学を支援 </div>
	不登校生徒 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学齢期を経過した生徒が中学校卒業程度の学力を身に付ける <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> → 基礎からの学び直しにより、確かな学力を身に付け、社会的自立ができるよう、夜間定時制高校への進学や就職を支援 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学齢期の不登校生徒が、在籍校に籍を置きながら夜間中学において授業を受けられる学びの場を提供
⑤ 学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室（ホームルームや特別教室）、図書室、保健室、運動場、体育館は、高校施設を共用 ○ 職員室は、既存の部屋を改修 ○ 豊田西高校は、主に中高一貫の中学校施設を共用
⑥ 若者・外国人未来塾との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「若者・外国人未来塾」を運営するNPO、外部の専門機関の日本語指導者・学習支援員が、夜間中学を訪問し、生徒の日本語習得と学び直しを支援

論点1 生徒の受入れに関すること

1 ニーズ調査の実施

(1) 対象となる生徒へのアンケート調査

入学希望者数や教育内容のニーズを調査するため、アンケート調査を行う。

対 象 : 夜間中学の対象となる者で、夜間中学で学んでみたいと思う者

内 容 : 回答者の属性や入学したい学校、入学を希望する理由、希望する支援の内容 等
⇒別添 アンケート (案) 参照

調 査 期 間 : 6月中旬から7月中旬まで (予定)

回 答 方 法 : インターネット

※インターネット回答ができない人のためにFAXでの回答や回収箱を設置するなどの方法を検討

周 知 方 法 : チラシを以下の公共施設に配架するとともに、県のウェブページへの掲載により周知

チラシ送付先		箇所数	チラシ送付先		箇所数
1	県民事務所 広報コーナー	5	7	若者・外国人未来塾 (運営団体)	9
2	生涯学習推進センター	1	8	愛知県社会福祉協議会	1
3	各愛知県教育事務所・支所・指導室	7	9	市町村社会福祉協議会(名古屋市除く)	5 3
4	市町村教育委員会(名古屋市除く)	5 3	10	博物館等	3 2
5	愛知県図書館	1	11	その他(配布を希望する自主夜間中学)	
6	各市町村立図書館	1 0 4	計		2 6 6

※このほかに、(公財)愛知県国際交流協会を通じて、日本語教室の運営団体等にもメールで周知予定。

(2) 学齢期の不登校生徒に関する調査

学齢期の不登校生徒が在籍校に籍を置きながら授業を受けられる学びの場を提供するため、不登校生徒の現状について調査を行う。

対 象 : 設置する市の教育委員会や支援団体 等

内 容 : 不登校児童生徒への支援のあり方

2 入学者の受入れ

- 入学時期は、原則、毎年4月とし、生徒の募集は前年の秋以降に十分な期間を設けて実施する。
- 年度途中の入学については、個別相談のうえ受け入れることとする。
- 生徒のこれまでの学習状況等を踏まえて、2学年や3学年への編入学を認める。
⇒このため、開校時より3学年の編成とする。
- 生徒募集に先立って、毎年、前年の夏頃に学校説明会を実施する。

【他県の県立夜間中学の募集時期】2023年度募集実績

	説明会	生徒募集
静岡県立 ふじのくに中学校	6月17日(金) 磐田本校(磐田市) 6月18日(土) 三島教室(三島市) 6月24日(金) 三島教室(三島市) 6月25日(土) 磐田本校(磐田市) 10月15日(土) 静岡県庁(静岡市)	7月1日 ～7月8日 ※二次募集 10月17日 ～10月28日
徳島県立 しらさぎ中学校	8月18日(木) しらさぎ中学校(徳島市) 8月21日(日) しらさぎ中学校(徳島市) 8月28日(日) うずしお会館(鳴門市)	9月1日 ～1月31日
高知県立 高知国際中学校	9月4日(日) オーテピア(高知市)	10月3日 ～12月2日 ※追加募集 1月10日 ～2月17日

「愛知県立夜間中学」について

声を聞かせてください



調査期間 2023年〇月〇日(〇)から〇月〇日(〇)まで

「夜間中学」はどんなところ？

- 授業料は無料です。
- 週5日、夜の時間に中学校の全教科を学びます。
- 教員免許を持っている先生が教えます。
- 決められた課程を修了すれば、中学校卒業となります。

<対象となる人>

- 日本の中学校を卒業していない人
- 母国で十分な教育を受けられなかった人
- 様々な事情によりほとんど学校に通えなかった人

全国にある夜間中学の一例

17:25~17:30	ホームルーム
17:30~18:10	1時間目
18:15~18:55	2時間目
18:55~19:25	休憩
19:25~20:05	3時間目
20:10~20:50	4時間目
20:50~21:00	ホームルーム

連絡先

愛知県教育委員会

あいちの学び推進課

教育改革グループ

FAX 052-954-6962

E-mail aichi-manabi@pref.aichi.lg.jp

夜間中学で学びたいと思った人は裏へ

※英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語（フィリピン語）に

翻訳したものを愛知県公式ウェブサイトに掲載しています。

愛知県では、2025年4月に豊橋工科高校に夜間中学をつくります。

2026年4月には、一宮高校・小牧高校・豊田西高校にも、つくる予定です。

「夜間中学」で学びたい人向けのアンケートを行っています。

右の「QRコード」を読み取って回答してください。

「URL」からの回答もできます。

http://・・・

まわりに「夜間中学」で学びたい人がいたら、その人に渡してください。

(英語)

(中国語)

(ポルトガル語)

(スペイン語)

(タガログ語 (フィリピン語))

※アンケートの回答から個人が特定されたり、ほかの目的に利用したりすることはありません。

※回答の方法がわからないときは、表にある連絡先へ相談してください。

アンケート (案)

愛知県では、2025年4月に豊橋工科高校に夜間中学をつくります。
2026年4月には、一宮高校・小牧高校・豊田西高校につくる予定です。
「愛知県立夜間中学」について、声をお聞かせください。

対象者

- 日本の中学校を卒業していない人
- 母国で十分な教育を受けられなかった人
- 様々な事情によりほとんど学校に通えなかった人

項目

問1 あなたは何歳ですか。

- | | | | |
|---|--------|---|--------|
| 0 | ～15歳 | 4 | 40～49歳 |
| 1 | 16～19歳 | 5 | 50～59歳 |
| 2 | 20～29歳 | 6 | 60～69歳 |
| 3 | 30～39歳 | 7 | 70歳～ |

問2 あなたの国籍を教えてください。
(国名を入力)

問3 あなたは中学校を卒業していますか。

- 卒業している
- 卒業していない
- 卒業したが、十分に通えなかった
- 現在、中学生である

問4 あなたが住んでいる市町村を教えてください。
(市町村名を入力)

問5 働いている人は、職場のある市町村を教えてください。
(市町村名を入力)

問6 夜間中学に通うとしたら、どの学校に通いたいですか。

- 一宮高校 (一宮市)
- 小牧高校 (小牧市)
- 豊田西高校 (豊田市)
- 豊橋工科高校 (豊橋市)
- 通える学校がない
- 通いたいと思わない <問7、10へ>

問7 (問6で「6」を選んだ方のみ) 通いたいと思わない理由を教えてください。
(複数回答可)

- 他の学校、フリースクールで学んでいるから
- 平日の夜に通うのは難しいから
- 毎日(週5日)通うのは難しいから
- 集団での学習に不安があるから
- 全ての教科を学びたいと思わないから
- その他(自由記述)

問8 あなたが夜間中学で学びたい理由を教えてください。(複数回答可)

- 中学校の勉強をしたいから
- 日本語を勉強したいから
- 日本の高校に入学したいから
- 働くために必要だから
- 学校生活を送りたいから
- その他(自由記述)

問9 夜間中学に希望することや期待していることを教えてください。
(複数回答可)

- 小学校からの学び直し
- 4年以上かけてゆっくりと学ぶ
- 1年間や2年間での卒業
- 生活、進学、就職の相談
- 学校給食
- その他(自由記述)

問10 このアンケートはどこで知りましたか。
(自由記述)

論点4 教職員等の配置に関すること

学齢を超えた者、外国にルーツのある者、不登校経験者など様々な背景をもつ生徒が入学することから、学習内容に合わせた教職員等の配置が必要となる。

1 教職員

- 夜間中学の学習内容は原則として中学校程度の内容ではあるが、年齢や学習状況が異なる様々な生徒が入学することから、幅広い学校種の教員を適切に配置する。
- 小学校程度からの学び直しに対応するため、小学校と中学校の両方の教員免許を持つ小中学校教員の配置も検討する。
- 青年期の生徒の学習・進路指導を行うため、中学校の教員免許を持つ高等学校教員を配置する。
- 夜間中学に勤務する教員を別枠で確保する。
- ニーズ調査の結果を踏まえ、学習内容と合わせて検討する。

例：徳島県立しらさぎ中学校〔開校初年度（各学年1学級・学校全体3学級）〕
 校長（高校と兼務）1、教頭1、教諭8、非常勤講師3、養護教諭1、事務職員1
 〈下線内訳 小学校1、中学校6、高校2〉

参考：令和5年度 愛知県中学校教員定数配当基準表

学級数	校長	教諭定数 (学級対応)	養護教諭	事務職員
3学級	1人	8人	1人	原則として 本校に1人

2 教員以外の専門スタッフ

- 教職員に加え、生徒を支援する専門スタッフの配置が必要となる。
【必要となる専門スタッフの例】
 - ・スクールカウンセラー
 - ・スクールソーシャルワーカー
 - ・通訳
 - ・教育業務支援員
 - ・日本語指導者
 - ・ALT

3 開校準備員

- 開校の前年度に、校内体制、年間行事予定、各種指導計画を作成する教員と必要物品の購入等を行う事務職員とを開校準備員として配置する。

論点5 設置形態に関すること

1 設置形態について

- 本県では、2026年度までに4校の県立夜間中学を設置することから、夜間中学の設置形態には次の二つの方法が考えられる。

設置形態	想定される効果と課題
【全て単独校】 2025年開校 ◇◇中学校 2026年開校 ■■中学校・☆☆中学校 ◆◆中学校	○各校に校長を配置できる。(高校と兼務か。) ○校長が高校と兼務の場合、夜間定時制との連携がしやすい。 ○地域のニーズに合った教育内容を主体的に行うことができる。 △校長が兼務となる場合、豊田西高校では、全日制課程と夜間定時制課程、中高一貫校の併設中学校、夜間中学を受け持つこととなり、他の3校に比べて負担が大きい。
【本校1校と分校3校】 2025年開校 ◇◇中学校（本校） 2026年開校 ◇◇中学校 一宮分校（校舎） 小牧分校（校舎） 豊田西分校（校舎）	○夜間中学4校の連携・協力が密になり、教育目標や教育内容の統一化を図りやすい。(オンライン授業の活用など) ○広報面などで夜間中学のイメージが打ち出しやすい。 ○県立高校では、1学年1学級規模となった場合に分校（校舎）としていることから、整合性が図られる。 ○校長等（各分校（校舎）は、教頭等）には中学校教員を想定。 △校長の配置は本校のみとなり、複数ある分校（校舎）の行事等に参加することが難しい。(ICTの活用が必須) △今後設置校が増える場合、校長の負担がその分増加する。

参考：県立学校の分校（校舎）の例

本校	校舎	備考
新城有教館高校	作手校舎	作手高校の1クラス化に伴い校舎化
豊川特別支援学校	本宮校舎	宝陵高校に併設
大府もちのき特別支援学校	桃花校舎	桃陵高校に併設
豊橋特別支援学校	山嶺教室 潮風教室	田口高校に併設 福江高校に併設
千種聾学校	ひがしうら校舎	東浦高校に併設